

# 第28回ふくしま駅伝

飯館村のタスキをつなぐ チーム一丸の力走



**佐藤彰洋監督**  
選手のがんばりを見てきた分、今回の結果は本当に悔しい。結果は監督である自分の責任。それを真摯に受け止め、課題を把握して、来年の準備をしていきたい

- 総監督 林 英滋 (濱田建設工業)  
監督 佐藤彰洋 (消防防災航空隊)  
コーチ 浅野純平 (飯館中教員)
- 1区 嶋原真琳 (飯館中2年)  
2区 細杉陸輝 (福島工業1年)  
3区 佐藤優也 (飯館中3年)  
4区 高橋良太 (飯館中教員)  
5区 神代優太 (飯館中2年)  
6区 佐藤彰洋 (消防防災航空隊)  
7区 菅野龍聖 (飯館中3年)  
8区 須藤李輝 (飯館中3年)  
9区 今野愛梨 (飯館中2年)  
10区 大内匡泰 (菊池製作所)  
11区 佐藤ちさと (宇都宮短大付属高3年)  
12区 中里岳文 (消防飯館分署)  
13区 佐藤優也 (大和自衛隊)  
14区 菅野茂則 (消防飯館分署)  
15区 佐藤安美 (飯館中2年)  
16区 主将 大内龍太郎 (飯館社協)  
飯畑友貴 (消防鹿島分署)  
細杉利樹 (飯館中2年)  
菅野大樹 (飯館中1年)  
佐藤浩太 (福島自衛隊)  
菅野 茜 (東陵高校1年)  
伊東琴美 (飯館中2年)



ゴールした福島県庁の前庭で。仲間と力を合わせて走り切ったさわやかな笑顔が印象的



11区 佐藤ちさと選手

**14区 菅野茂則選手**  
毎年引退を考えるが、村のチームで練習するのが本当に楽しい。中学生には、元気をもらっている。村を応援してくれる人のために走り続けたい



16区 大内龍太郎主将

**16区 大内龍太郎主将**  
目標の区間賞は達成できなかった。中学生の結果を知り、彼らの分までがんばろうと思い走った。15回目の参加だが、毎回たくさんの応援をいただきありがたいと思う

**5区 神代優太選手**  
途中で体調が悪くなり、タスキをつなぐことができなくて、チームに迷惑をかけてしまった。それでも走り切れたのは、応援のおかげ。来年もがんばりたいです



5区 神代優太選手 / 4区 高橋良太選手

**9区 今野愛梨選手**  
初めて駅伝を走り、完走することができた。ただ、1メートル手前でタスキをつなぐことができず本当に悔しい。悔しさを、必ず次につなげたい

**4区 高橋良太選手**  
監督をはじめ、スタッフ全員の支えに感謝。中学生が、放課後などにがんばる姿を見て、自分もがんばることができた。本当にいいチームです

晩秋の福島を縦断する16区  
白河から福島へ53チームが北上

「しらかわカタールスポーツパーク陸上競技場」をスタートし、県庁前にゴールする全16区。総延長95.1kmを52の市町村チームと、7町村合同チーム「希望ふくしま」の全53チームが駆け抜けました

## 震災を越えて つながれるタスキ

11月20日開催の第28回ふくしま駅伝(第28回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会)に出場した村チーム。避難が続く中、今年も単独チームでの出場を果たし、総合タイム6時間27分27秒、村の部10位でフィニッシュしました。

村は、4回大会からの村の部10連覇、12回大会では全体の5位に入賞するなど、大会に実績を残してきました。震災直後の2大会は避難の影響でオープン参加となりましたが、その間も単独出場を続け、先輩たちから引き継ぐ思いを次世代へつないでいきます。そして迎えた今大会。飯館中学校の生徒や先生が連続出場するなど、タスキは着実に新たな時代へと引き継がれています。

中継所の選手が村外の人から「避難しながらの全区出場。本当にすごい。応援しています」と声をかけられるなど、この大会では他市町村から声援をいただくことも少なくありません。未来へタスキを運ぶ選手の力走が、多くの人に元気と勇気を与えています。



12区 中里岳文選手

**2区 細杉陸輝選手**  
4回目の参加です。忘れもの・寝坊もしたけれど、目標タイムが達成できて良かった。また明日から(所属している)高校の陸上部で練習をがんばりたい

